

UCHIURA art POST

Art exhibition at Uchiura, old Post office

2017/ 9/ 13 wed - 9/ 24 sun

NUMAZU | Art Project



沼津市内浦三津にある昔の郵便局で、「外部と地域をつなぐ情報の中継地点」をテーマとし、4名の現代アート作家による展覧会を開催しました。会場となる建物は、昭和初期に建てられた木造建築で、所々に洋式建築の名残が見られます。また、郵便局としてだけでなく電話の交換も行われており、各地へ手紙や荷物、電話を通じて様々な思いや情報が届けられていました。内浦にとってこの郵便局は外の世界と地域をつなぐ情報の中継地の役割を担った場所です。

本展では、静岡県内外で活動している作家が、この昔の郵便局を舞台に「情報の中継地」「過去との対話」「人や土地との交流」をキーワードとした作品を、空間に合わせて制作、展示されました。建物の歩んできた歴史と地域の人と地域外の人々をつなぐ機会を作り出します。

事業効果

アートイベントによって、長年足を踏み入れることのなかった空き家が解放され、現代の人々がかつての生活の営みに触れたり、新たな交流の機会を生み出すことができました。地域の子もたちにお化け屋敷と呼ばれていた薄暗い印象の建物が、イベント開催に向け清掃され整っていく過程は、地域の方々にとってかつての生活を思い起こす引き金となり、当時の様子を語り合う場面も見られました。また、その話を聞く若い世代にとっては、繁栄期の生活の営みを知るきっかけになりました。

会期中、新聞やテレビ等に取り上げられたことによって、近隣の町からも足を運び来場する方も多く見られ、多くの人に内浦の小さな歴史を知っていただくことができました。

その他に、内浦のリピーター観光者にとっても、見慣れてきた風景とは違った趣を楽しむ新たな発見を生むことができました。ユニークなフォトスポットとして SNS (Twitter や Instagram) による口コミで広がっていき、マンネリ化しつつあった内浦の観光促進の一助を担いました。



今後の活動予定

第2回の展覧会として、耕作放棄されたみかん農園での開催を検討しています。次回展覧会開催に向け、引き続き新規会場の開拓及び地域のリサーチを行う予定です。

自己評価

展覧会開催に向けた、チラシ作成・SNSの活用・マスコミへの取材依頼等の広報活動は集客へと結びつく効果を得ることができたと思います。

また、近隣施設（漁協組合・郵便局）や近所の方とも運営する中で交流を計ることができ、好意的な協力を得ることができました。

展覧会開催の体系を模索するため、作品展示だけでなく、試験的に一日だけ飲食店（ピザ店）を出店していただきました。飲食店があることでよりイベントに活気が生まれ、新たな集客に繋げることができました。

アートに馴染みのない内浦三津地域にとって、本展覧会開催は初めての試みとなったと思います。長く使われていなかった建物に若い人達が入りを始めた際には、地域の方々も初めは何が起こるのかと疑問に思いながらも、あたたかく見守っていただき、困っていた時には手を差し伸べていただくこともありました。展覧会を通じ、少しずつ広がっていく交流の環というものを体験でき、次へと繋げていく手応えを感じることができました。